

(1) 住居等近隣の森林の除染について

現在、森林の除染については、人の健康の保護の観点から特措法基本方針において住居等近隣の森林を優先的に除染することとしており、除染関係ガイドラインにおいて、除染の範囲としては、林縁から20m程度の範囲をめやすに行うことが、効果的・効率的としている。

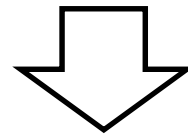
除染の方法として、まずは落葉・落枝の除去が定められている。

特に、スギやヒノキ等の常緑樹林については、枝葉に放射性物質が付着しているため、落葉・落枝の除去を実施しても十分な除染効果が得られない場合は、林縁部周辺について立木の枝葉等の除去を行うこととしている。

落葉・落枝等の除去の方法

(2) 森林全体の除染について

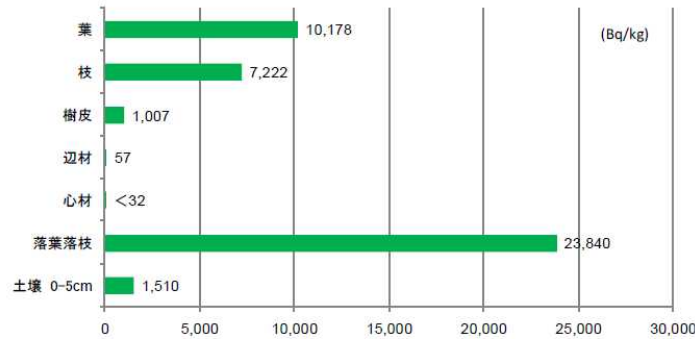
森林全体の落葉・落枝の除去は、空間線量率の低減として2～4割程度期待できるが、土壌流出や地力の低下による樹木の育成への悪影響のおそれが懸念される。



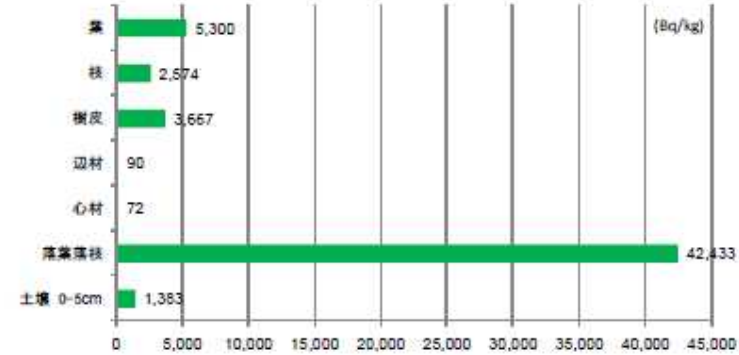
森林全体の落葉・落枝等の除去は、土壌流出や地力の低下による樹木の育成への悪影響のおそれの観点から、適切ではないのではないか。

森林の中の除染が必要な場所において、これまでどおりの除染の方法である、落葉・落枝の除去や枝葉の除去を実施することを基本としてはどうか。

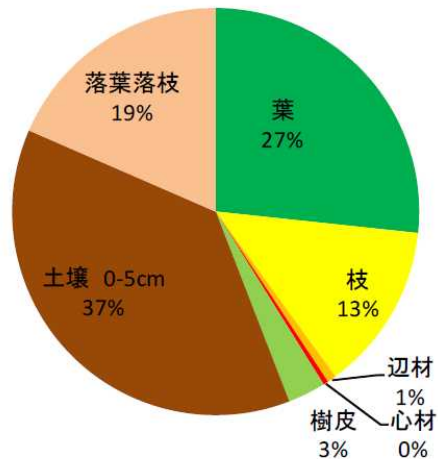
(参考) 部位別の放射性セシウム濃度及び分布状況



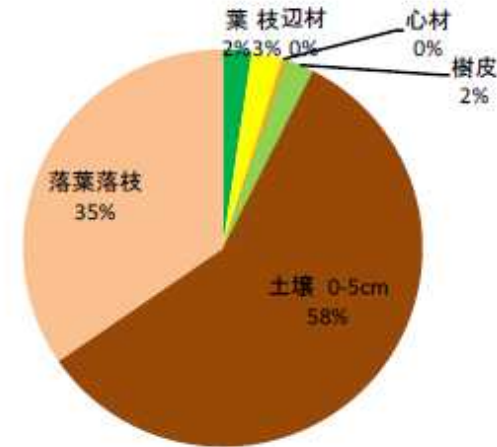
部位別の放射性セシウム濃度
(スギ定性間伐区)



部位別の放射性セシウム濃度
(落葉広葉樹二次林)



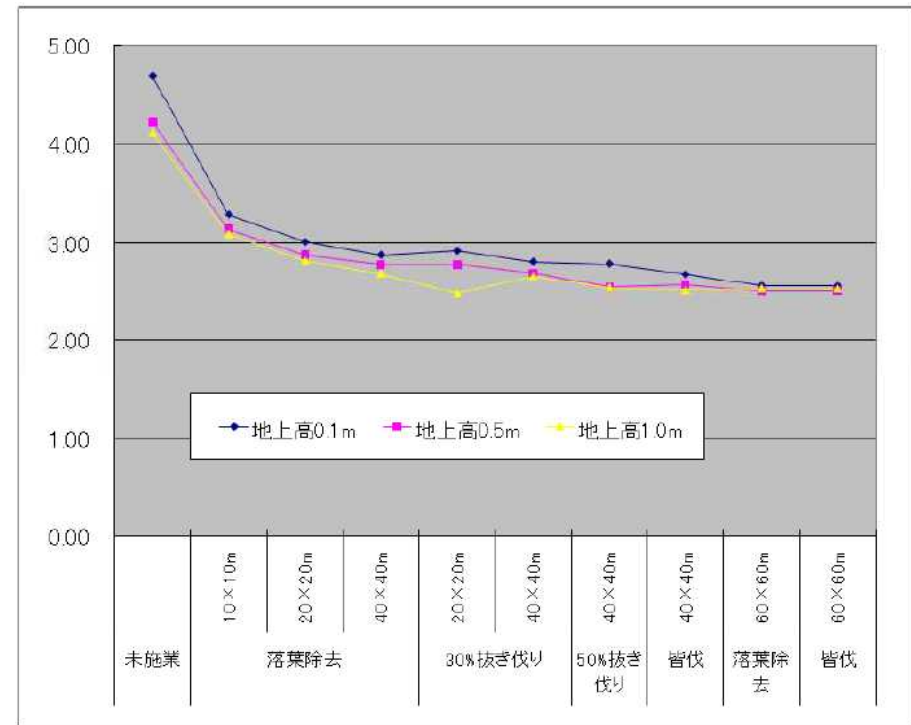
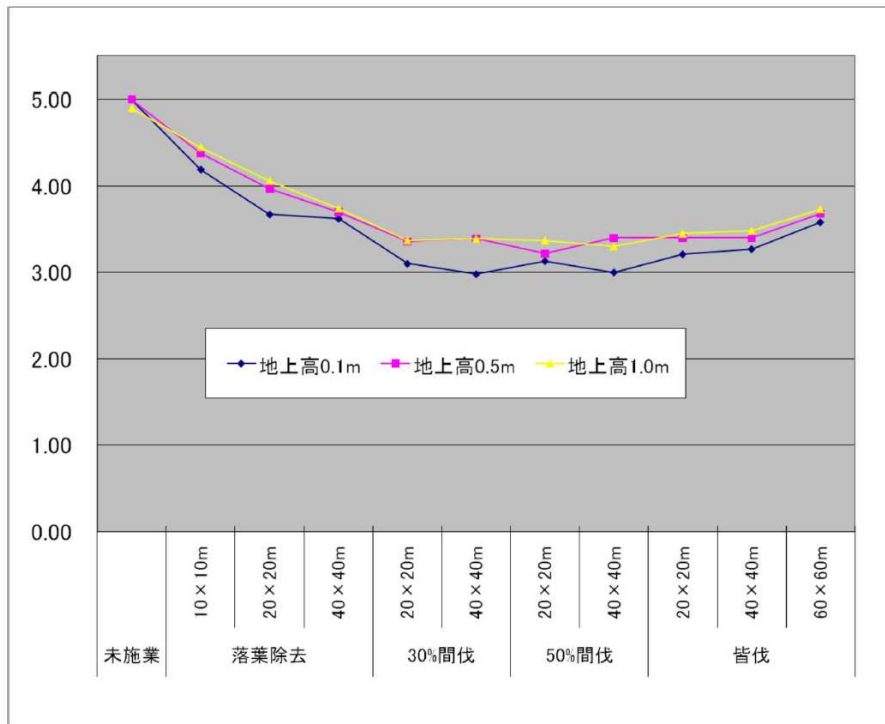
部位別の放射性セシウムの分布割合
(スギ定性間伐区)



部位別の放射性セシウムの分布割合
(落葉広葉樹二次林)

- ・福島県双葉郡広野町における調査結果(平成24年1~3月)
- ・「森林における放射性物質の除去及び拡散抑制等に関する技術的な指針(参考資料)」(林野庁、平成24年4月)より抜粋

(参考) 落葉・落枝の除去及び間伐・皆伐の効果



スギ人工林(左)及び落葉広葉樹林(右)の空間線量率(μSv/h)の変化

- ・福島県川俣町山木屋における調査結果(平成23年11月～平成24年2月)
- ・「森林における放射性物質の除去及び拡散抑制等に関する技術的な指針(参考資料)」(林野庁、平成24年4月)より抜粋